平成 27 年度　事業報告

公益社団法人日本スカッシュ協会

（1）スカッシュ競技の普及に関する事業

① スカッシュデー・スカッシュウィークの実施
主催：（公社）日本スカッシュ協会
主管：全国のスポーツクラブ及び地区支部等
日程：＜スカッシュデー＞平成 28 年 2 月 11 日
＜スカッシュウィーク＞平成 28 年 2 月 5 日～14 日
会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート等
目的：スカッシュの楽しさをより多くの方々に体験して頂きスカッシュの一層の普及を目的とする。
対象：一般の方、どなたでも。
参加人数：全国 18 カ所で 1,288 名参加
成果：北海道から九州まで全国各地でスカッシュの大会やイベントを開催してスカッシュによる交流を図り、協会ＨＰにて発表した。

② 広報活動
イ）　広報機関誌＜ＳＱＵＡＳＨ＞の発行（年 2 回を予定）
Vol. 77　（夏の号）7 月 27 日発行
Vol. 78　（冬の号）平成 28 年 2 月 20 日発行
ロ）　協会ホームページの運営
ハ）　体育協会記者クラブ等マスコミへのプレスリリース等情報発信
ニ）　記者会見等の開催
＊東京 2020 オリンピック競技大会追加種目ショートリスト 8 種目入りの発表を受けて、6 月 22 日スパ白金にて記者会見を実施。
＊8 月 7 日 8 日東京五輪組織委員会の世界スカッシュ連盟（ＷＳＦ）へのヒアリングを経て、9 月 28 日追加種目発表時に（一財）日本スポーツマンクラブ財団にて記者会見を実施。残念ながら追加種目入りならず。

③ 大会等のスポンサー対策及び増進
④ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクトを推進
⑤ エアースカッシュを活用した全国キャラバンを実施（別紙資料参照）
全国 12 カ所で開催。1,283 名の参加がありスカッシュの普及に貢献。

（2）スカッシュ競技の競技力の向上に関する事業

① スカッシュの普及と競技力向上に関する事業と「スカッシュ応援募金」活動
目的：アジア競技大会でメダルが取れる選手の育成強化と普及を目的とする。
対象：選手強化活動とコーチ養成の活動及び新たなジュニア選手の発掘育成を対象とする。
内容：
イ）　ナショナル強化プロジェクトチームによる JSA 強化指定選手の競技力向上と、普及活動による選手発掘育成強化
ロ）　協会ＨＰや全国地区支部、協会の大会等に於けるスカッシュ応援募金活動

② ナショナルスカッシュ強化練習会及び合宿の開催

イ）ナショナルトレーニング

主催：（公社）日本スカッシュ協会

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

ラヴィ・セントラルフィットネスクラブ蒲田

◆日程：4 月 26 日　参加人数：6 名

◆日程：5 月 17 日　参加人数：3 名

◆日程：6 月 28 日　参加人数：5 名

◆日程：7 月 4 日　参加人数：2 名（シニア選手のみ対象）

◆日程：7 月 19 日　参加人数：8 名

◆日程：8 月 23 日　参加人数：5 名

◆日程：9 月 13 日　参加人数：6 名

◆日程：10 月 25 日　参加人数：4 名

◆日程：12 月 6 日　参加人数：5 名

◆日程：平成 28 年 1 月 31 日　参加人数：4 名

◆日程：平成 28 年 2 月 21 日　参加人数：7 名

ロ）香港チャレンジマッチ

主催：（公社）日本スカッシュ協会

日程：7 月 28 日～30 日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数：9 名

ハ）平成 27 年度ＪＳＡジュニアスカウトセレクション

主催：（公社）日本スカッシュ協会

日程：8 月 3 日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加：17 名　ＪＳＡジュニアスカウト対象選手：5 名選出

ニ）平成 27 年度西日本ジュニア強化合宿

主催：（公社）日本スカッシュ協会

主管：日本スカッシュ協会　中国四国支部

日程：10 月 17 日・18 日

会場：マスカットスタジアム内スカッシュコート

コーチ：佐野、松本

参加人数：12 名（内ジュニア選手 7 名）

ホ）平成 27 年度ＪＳＡジュニアスカウトセレクション対象選手強化合宿

主催：（公社）日本スカッシュ協会

日程：12 月 26 日 27 日

会場：スカッシュマジックアカデミー

コーチ：佐野、松本　参加人数：8 名

ヘ）ナショナルジュニア強化合宿・冬

主催：（公社）日本スカッシュ協会

日程：12 月 27 日 28 日

会場：スカッシュマジックアカデミー
コーチ：佐野、松本　参加人数：27 名

ト）平成 27 年度ジュニアウィンターキャンプ Part1
主催：（公社）日本スカッシュ協会
日程：平成 28 年月 1 月 23 日 24 日
会場：サンセットブリーズ保田
コーチ：佐野、松本　参加人数：22 名

チ）平成 27 年度ＪＳＡジュニアスカウトセレクション・春
主催：（公社）日本スカッシュ協会
日程：平成 28 年 3 月 30 日
会場：サンセットブリーズ保田
参加人数：16 名　ＪＳＡジュニアスカウト対象選手：4 名選出

リ）平成 27 年度ナショナル強化合宿・春
主催：（公社）日本スカッシュ協会
日程：平成 28 年 3 月 30 日～4 月 1 日
会場：サンセットブリーズ保田
コーチ：佐野、土田、菊池
参加強化選手：24 名

③ 公認スカッシュコーチ＜レベル 1＞特別認定講習会及びリフレッシュコースの開催

イ）公認スカッシュコーチ＜レベル 1＞特別認定講習会＆試験の開催
主催：（公社）日本スカッシュ協会
日程：平成 28 年 1 月 29 日又は 30 日
会場：スカッシュマジックアカデミー
講師：佐野公彦
対象：オーストラリアのコーチ資格保持者
目的：オーストラリアのコーチ資格は国内のみとなった為、特別講習会及び試験を受講する事によりＪＳＡ公認コーチレベル 1 資格保持者の増加を図る。
受講者：13 名合格

ロ）世界コーチ会議への派遣
日程：平成 28 年 2 月 19 日～21 日
場所：マレーシア
派遣コーチ：足立美由紀

ハ）公認スカッシュコーチ＜レベル 1＞リフレッシュ講習会の開催
日程：平成 28 年 2 月 26 日～27 日
会場：スカッシュマジックアカデミー
講師：足立美由紀
目的：世界スカッシュ連盟（ＷＳＦ）及びアジアスカッシュ連盟（ＡＳＦ）のコーチングコース連携に伴い、ＪＳＡレベル 1 の資格を

ＷＳＦやＡＳＦの公認ライセンスに移行する為に必要な講習会。
受講者：7名中6名合格、講師5名

ニ）レベル2コーチングコース派遣
日程：平成28年3月24日～28日
場所：香港
派遣コーチ：足立美由紀
目的：ＷＳＦとリンクした公認コーチ養成講習会を開催出来る講師資格を取得する為の講習会を受講

③ＪＳＡ公認審判講習会と認定試験の開催・支援と公認＜2級・3級・4級＞
主催：（公社）日本スカッシュ協会及び全国の地区都道府県支部
日程：年10回全国で開催
目的：レフリー・マーカーの正しい知識を習得し、スカッシュ審判の一層の技術向上を目的とする。
対象：4級—一般、ジュニア等のスカッシュ経験が浅い者等。
3級—スカッシュの競技歴が1年以上と認められる者等。
2級—スカッシュの競技歴が3年以上と認められる者等。
参加人数：下表を参照
内容：イ）講習会：正しいルール、レフリー・マーカーのあり方、正しいジャッジ（判断）の進め方、トラブルの対処方法、観客や試合のコントロール方法の学習
ロ）筆記試験と実技（DVD）：試験の点数により認定の合否を決定

日程	会場	主催	受講者数	受験者数	受験結果				備考
					2級合格	3級合格	4級合格	追試	
4月26日	札幌祖中央区民センター	北海道	18	21		4		13	
6月14日	土屋不動産	東北		6		3			追試
6月16日	杉並区高井戸地域区民センター	協会	39	20		4		6	学生向
7月5日	広島市佐伯区民文化センター	中国四国	25	26		12		7	
7月12日	杉並区高井戸地域区民センター	東京	14	15		7		7	
10月4日	宮城トヨタ自動車(株)本社会議室	東北	50	22				1	
2月14日	札幌市中央区民センター	北海道	5	14		3		4	
2月20日	ウエスタ川越	4県	14	14		4		7	
2月21日	西宮大学交流センター	関西	28	18		3		9	
3月20日	西宮大学交流センター	関西	22	19	1	3		4	
		計	215	175	1	43		58	

(3)　　スカッシュ競技の競技大会に関する事業

① 協会主催の競技大会

イ) 第 26 回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会
日程：6 月 6 日・7 日
会場：さいたまスカッシュスタジアムＳＱ-ＣＵＢＥ
目的：日本のトッププレイヤーを目指す若いプレイヤーの育成強化を目的とする。
対象：23 歳未満の男女
参加人数：90 名
内容：トーナメント制
結果：男子優勝　：　増田成吾（関東支部）
準優勝：　松本航太（ティップネス宮崎台）
女子優勝　：　杉本梨沙（順天堂大学）
準優勝　：　坂井日向子（鎌倉高校）

ロ) 第 29 回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会
＜ワールドジュニアサーキット(WSF) ＞
＜アジアジュニアスーパーシリーズ(ASF)＞
日程：7 月 31 日～8 月 2 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
目的：海外のジュニア選手の参加により、日本の選手との交流と技術向上を目的とする。
対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9 の選手
参加人数：225 名
内容：トーナメント制
結果：男子アンダー19　優勝：机　龍之介（iBEX Sports）
準優勝：Cheuk Nam Matthew LAI (HONG KONG)
女子アンダー19　　優勝：渡邉聡美　(SALMING)
準優勝：Rou-Yi Sara CHEW (MAIAYSIA)

ハ) 第 21 回スカッシュマスターズカーニバル
日程：10 月 10 日 11 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
目的：マスターズの年代のスカッシュ愛好家による親睦を図り、スカッシュの試合を通じた楽しい仲間作りを目的とする。
対象：男女オーバー30、40、45、50、55、60、65、70（初心者～ベテラン）
参加人数：170 名+トリオマッチ 23 組
内容：トーナメント及びリーグ制

ニ) 文部科学大臣杯争奪第 44 回全日本スカッシュ選手権大会
＜平成 27 年度スポーツ振興基金助成＞
日程：11 月 20 日～23 日
会場：セントラルフィットネスクラブ宇都宮

目的：全国で開催された公認大会において上位の成績を収めた選手達により、日本チャンピオンの座を競う国内最高峰の大会。日本全国のトップ選手の交流と一層の技術向上を目的とする。
対象：全国の公認大会における上位入賞者で、日本国籍を有する者、及び男女マスターズ
参加人数：選手権 158 名+マスターズ 64 名
内容：トーナメント制
結果：選手権男子　優勝：机龍之介（iBEX スポーツ）
　　準優勝　：小林僚生（First Wave）
　選手権女子　優勝：小林海咲　（メッドサポートシステムズ）
　　準優勝　：松井千夏　（SQ-CUBE PRO）

ホ）JOC ジュニアオリンピックカップ第 20 回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会
日程：平成 28 年 3 月 25 日～27 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
目的：日本のジュニア選手で年代別ジュニアチャンピオンを競う大会であり、交流と技術向上を目的とする。
対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9 の選手で、日本国籍を有する者
参加人数：165 名
内容：トーナメント制
結果：男子アンダー19 優勝　：　机　龍之介（iBEX スポーツ）
　　準優勝　：　園部大和（First Wave）
　女子アンダー19 優勝　：　渡邉　聡美（メッドサポートシステムズ）
　　準優勝　：　酒井　真美（スプラッシュ）

② <u>海外大会日本代表派遣</u>

イ）第 13 回ＰＢＡペナンジュニアオープン
日程：6 月 1 日～6 日
会場：二コルデービットインターナショナルスカッシュセンター
　（マレーシア　ペナン市）
種目：男女アンダー19,17,15,13,11
参加選手：11 名、監督/佐野公彦
上位入賞者：女子アンダー17 優勝　渡邉聡美
　　男子アンダー19　9 位　机龍之介

ロ）第 10 回東アジアスカッシュ選手権
日程：6 月 25 日～29 日
開催地：台湾（台北）
種目：男女団体戦
参加：監督/潮木　仁
　男子選手：机龍之介、遠藤共峻、海道泰喜
　女子選手：小林海咲、渡邉聡美、杉本梨沙
結果：男女共準優勝
　男子：1 位香港、2 位日本、3 位韓国、4 位台湾、5 位中国、6 位マカオ

女子：1 位香港、2 位日本、3 位韓国、4 位中国、5 位台湾

ハ）2015 世界ジュニアスカッシュ選手権大会
日程：7 月 26 日～7 月 28 日
開催地：オランダ/アイントホーヘン
種目：男女個人戦
参加：2 名　帯同/神谷典子
結果：男子/机龍之介　ベスト 16（日本男子最高記録！）
女子/渡邉聡美　ベスト 32

ニ）2015 香港ジュニアオープン
日程：8 月 12 日～16 日
開催地：香港
種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9
参加：22 名　監督/土田博史　コーチ/松本淳、西村佳子
主な結果：男子アンダー19　優勝　机龍之介、ベスト 16　園部大和
男子アンダー17　ベスト 16　尾潟祥汰
女子アンダー17　優勝　渡邉聡美
女子アンダー13　ベスト 16　高橋楽歩、石井愛夏

ホ）ＫＬジュニアオープン
日程：12 月 1 日～6 日
開催地：マレーシア/クアラルンプール
参加：16 名　監督/足立美由紀　帯同/横田真由美
主な結果：男子アンダー19　優勝　机龍之介
男子アンダー17　15 位　松本航大
男子アンダー11　13 位　池田悠真
女子アンダー19　準優勝　渡邉聡美
6 位　中平百香

ヘ）シンガポールオープン 2015
日程：12 月 16 日～20 日
開催地：シンガポール
参加：5 名　監督/潮木仁
主な結果：男子プレミア　9 位　海道泰喜
10 位　林　尚輝
女子プレミア　7 位　杉本梨沙
10 位　酒井真美
男子アンダー19　7 位　尾潟祐亮
女子アンダー19　5 位　酒井真美
女子アンダー15　5 位　渡邊安佑未
6 位　高橋楽歩

ト）ＵＳオープン
日程：12 月 19 日～22 日
開催地：アメリカ/コネチカット州

参加：4 名
主な結果：女子アンダー19 優勝　渡邉聡美（3 カテゴリー連覇！）
男子アンダー19 準優勝　机龍之介

チ）Tecnifibre 2016　ブリティッシュオープン
日程：平成 28 年 1 月 2 日～6 日
開催地：イギリス/シェフィールド
参加：3 名　監督/佐野公彦
主な結果：女子アンダー17　5 位　渡邉聡美
男子アンダー19　10 位　机龍之介

③ 国際大会の日本開催に向けての資金及び情報の収集
目的：国際大会を開催して海外選手と対戦する機会を作る事により日本選手の技術の向上を図る。又、間近で海外トップ選手のプレイを観戦する機会を作り、より多くの人々にスカッシュへの関心を高めてもらい一層の普及を図る。
計画：2018 年東アジアスカッシュ選手権大会の日本開催、2020 年東京五輪スポーツラボの実現、2021 年関西ワールドマスターズゲームズに向けての準備。

（4）その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

① アジア競技大会に向けてのロビー活動及び選手強化活動
目的：2018 年のアジア競技大会では、より多くの日本人選手が出場でるように努力し、メダル獲得に向けて選手強化を一層充実させた。
対象：男女ナショナルチーム
種目：男女シングル戦、団体戦
内容：選手強化の為の合宿を集中して行った。

② オリンピック競技大会での正式競技入り実現の為の推進活動
目的：スカッシュの普及発展の為、WSF（世界スカッシュ連盟）との連携により、東京五輪組織委員会に向けて 2020 年オリンピック追加種目入り要請運動を展開した。
成果：残念ながら追加種目入りは叶わなかったが、ＷＳＦの総会に出席してＩＯＣへの継続した働きかけを要望した。
東京五輪でスポーツ・ラボとして実施の可能性が出ている。

③ ドーピング検査及びドーピング防止啓蒙活動
＜平成 27 年スポーツ振興くじ助成＞
目的：（公財）日本ドーピング機構に加盟して、ドーピング検査及びドーピング防止の為の啓蒙活動を積極的に行う。
内容：第 44 回全日本スカッシュ選手権大会にてドーピング検査を実施。
ジャパンジュニアオープン大会の会場にてアウトリーチ活動を実施。
協会機関誌にてドーピング防止の広告を掲載して啓蒙活動を行った。

④ 会員募集事業と公認事業制度の運用

内容：＊個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は（株）アプロード運用の「スポーツエントリー」を利用して利便性を図った。平成 23 年度より大会参加に関しての「スポーツエントリー」の利用は、主催者の判断に委ねている。

＊世界スカッシュ連盟（WSF）の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行いスカッシュ競技の安全性や統一を図った。

＊公認大会の運用（要項、ドロー、結果の確認及び公認）やランキング等の発表を行い、公認大会の全国統一とレベルアップを図った。
平成 26 年度よりジュニアランキングも施行している。

⑤ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、男女国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整

目的：海外対策委員会を中心に海外の情報収集及び国内情報の発信及び海外との協力体制で積極的な活動を行った。

内容：東アジアスカッシュ連盟総会及びアジアスカッシュ連盟総会、世界スカッシュ連盟総会に出席。
東京五輪追加種目ヒアリングにてＷＳＦ役員のアテンドをした。

⑥ 全日本学生連盟との連携、強化

内容：5 年前より学生連盟の所属選手も個人登録とし、協会機関誌を個別に発送する事により情報を一層密に伝達した。又、大会等における協力体制を強化した。

⑦ 「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」建設に向けた資金及び情報の収集

目的：スカッシュ人口増大の為には、協会保有のスカッシュコートを建設しての普及活動が不可欠。又、集中的な選手強化の為にもスカッシュコートを含むトレーニングセンターの建設が必要。国や自治体の協力を得て「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」の建設を目指し、資金と情報の収集に努力する。

計画：引き続きスカッシュコート設置を働きかける努力をした。

⑧ 公益法人としての活動の強化

目的：公益社団法人としての適正な活動を行い、スカッシュの一層の普及振興に努力した。